



東京芸術座

被災した人々の苦しき淋しきは計り知れない
人々の心の中で生き続ける見えない命は
何を伝えようとしているのか

どんなに辛いことがあっても
追憶を力にして糧にして生きていく

いぐねの庭

【いぐね（居久根）】
仙台市近郊農家の特徴的な屋敷林のことで、
様々な樹木が植えられ、奥羽山脈から吹く北風や、
海から吹く塩風からも人々を守ってきた。

作 堀江安夫
演出 杉本孝司

照明 坂本義美
美術 内山 勉
音響 馬上真勝
衣裳 山田靖子

出演

二瓶美江
手塚政雄
樋川人美
佐藤アズサ
星野子熊
若井なおみ
脇 秀平
小川拓郎
我妻美緒
吹田真美



3月27日（月） ロゼシアター
開場 18:00 開演 18:30 中ホール

◇ 他団体の例会日程 ◇

清水 3月28日(火) 18:30
(清水マリナート)

沼津・伊豆 3月30日(木) 13:30
(三島市民文化会館)

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

作 堀江安夫
演出 杉本孝司
照明 坂本義美
美術 内山勉
音響 馬上真勝
衣装 山田靖子



いぐねの庭

東京芸術座

【あらすじ】

2011年夏。

仙台市郊外の七郷と呼ばれる一帯の長喜城地区にある幸田家は、大地震で半壊の指定を受け、半年も経ても殆ど手つかずの状態。

昼下がりの幸田家の茶の間に、座卓を挟んで向き合っているのは、福永陶吾と妻の夏苗。夏苗の両親の幸田伸介と湊子、兄の伸也。

卓の上には一枚の書面。

木々の梢を震わす蝉時雨とは対照的に、地震の傷跡も生々しい室内は沈鬱な静寂が支配する。

何れの肩にも焦燥感と切迫感、そして疲労感が重く張り付いている。

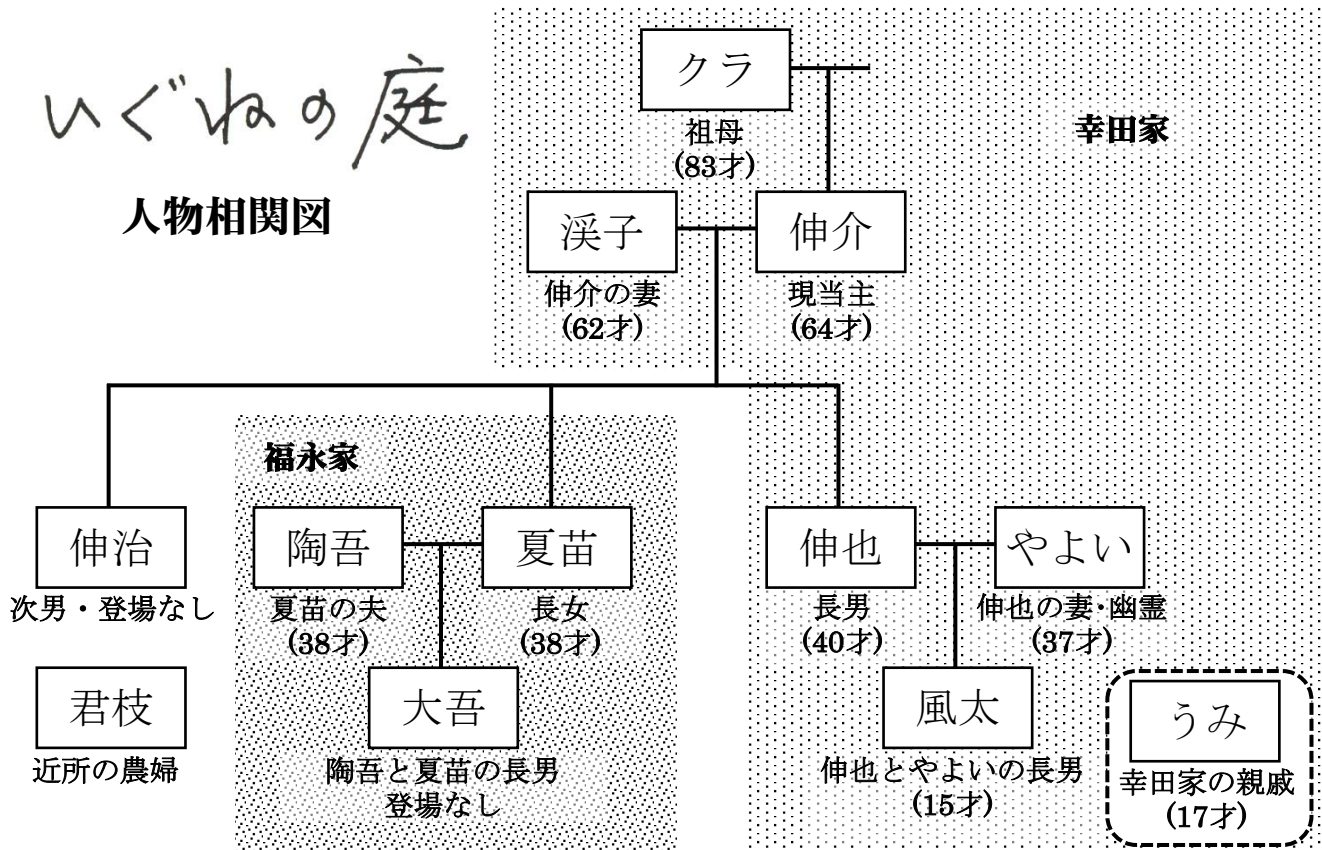
長い沈黙に耐えかねたように話を切り出す。

上演時間
2時間15分
休憩15分



いぐねの庭

人物相関図



【キャスト】

- 幸田クラ …… 二瓶美江
- 幸田伸介 …… 手塚政雄
- 幸田溪子 …… 樋川人美
- 幸田伸也 …… 星野子熊
- 幸田やよい …… 我妻美緒
- 幸田風太 …… 小川拓郎
- 福永陶吾 …… 脇 秀平
- 福永夏苗 …… 若井なおみ
- 保高うみ …… 吹田真美
- 若生君枝 …… 左藤アズサ

《居久根とは》

居久根は、北関東から東北地方太平洋側、特に宮城県を中心にした地域の屋敷林の呼称です。

「居」＝家、「久根」＝地境であり、屋敷境の意味があります。

主として屋敷の北西側に配置され、スギ、ケヤキ、ハンノキ、クロマツの四種の高木が居久根の骨格。

これらは高さ20m以上に達します。

居久根にやってくる鳥が種子を運ぶため中低木の種類も豊富です。

《居久根の効用・役割》

■防ぐ

防風、防雪、防砂、防潮、防塵、防火、防犯、洪水対策

■住みやすくする

夏…の蒸散によって周囲の気温を下げる
冬…冷たい季節風を防ぎ、日溜りの中庭は暖かい

■裏山として

燃料、肥料、用材、食料の供給
■目印と物差し

■隣家との境界

大きさによって家の歴史を判断する時間指標

『愛の讃歌』ピアフ 感想

小卷さんの変わらぬ美しさと張りのある声に感動しました。ピアフもよかったですね。ピアフの短くても濃密な人生。「命は、自分のものであって、自分のものではない。」という言葉が印象的でした。さすが小卷さんです。身のこなしが軽やかでエレガントでステキでした。

素敵な歌と発声(セリフ)、かるやかなステップ、私たちに希望をいただきました。感謝！今夜観劇できて良かった。これからも健康に感謝。ありがとうございました。

小卷さん、一人芝居、さすがですね。ピアノ、ドラムもステキでした。

小卷さん、とてもかわいかったです。踊りも最高でした。とてもエネルギーをいただきました。

「命は自分のものであって、自分のものではない。本当の勇氣は生き抜くこと。」というメッセージが心に残りました。90分があつという間に。栗原小卷さんの迫力に圧倒されました。

舞台構成が素晴らしく、万華鏡のように変化できることに感動しました。一人でこのような作品に完成させる演出力と女優の声と演技に改めて拍手。

栗原さんの声のハリ・音量にびっくりです。聞き入っていました。ピアフの人生で、生きるとは何か、死は何か、又ピアフの歌で人生の

喜怒哀楽をおそわりました。一人芝居を初めて見て最高でした。生のピアノ・歌、良かったです。ありがとうございました。ございました。

歌声に感激いたしました。生涯がこんなものとは知りませんでした。

ザ・女優のお芝居をたつぷりと味わわせていただきました。そのセリフのひとつひとつが心にしました。

演技力の力、1時間半は長いと思つたが、釘づけになつていました。女優の力、舞台はおもしろい。長いセリフの後のあの歌声、本当にすばらしかった。演技もすばらしかった。色々考えさせられた。

ピアフの人生のすばらしさ、はかなさ、満足感を味わいました。歌がすばらしい。

一人芝居で観るのは初めてでした。一人なのに他の人もいるように演じていて、すごかったです。最後の花がたくさん様子も印象的でした。歌がすばらしかったです。

1時間半を見事に演じた栗原さんに感動をもらいました。細かい身体での音量が出るとは、ブラボーです。

生の声が聞けてとても良かった。いつまでも頑張つてほしいです。ピアフの人生、悲しくも深い。すばらしい歌、ありがとう。

ステキな歌でした。もつと聴きたかったです。1時間半の一人舞台。セリフも長く、覚えるのも大変だったでし

よう。ステキな舞台でした。90分、語り、歌い、踊り、走り、ころがり、すごい！

可愛い、魅力あふれる舞台、栗原小卷さんに圧倒されました。歌も動きも素晴らしかったです。声もとてもきれいで、感動しました。

シャンソンは中ホールでちようどいいですね。栗原小卷さん、お若いですね。

素晴らしかったです。一人で演じること、何とも素敵でした。有難うございました。明日への元気をいただきました。

エディット・ピアフの情熱的な人生がみれました。若々しい小卷さん、すばらしかったです。軽やかに走つて、歌つて、すごい！

今日は栗原小卷さんの観劇を楽しみに来ました。とっても若々しい小卷さんでした。内容は心打つものがありました。

栗原小卷さんののびやかな若々しい歌声、とてもすてきでした。一人芝居をこなすお姿にも、パワーをいただきました。

ドラム・ピアノ、とっても良かったです。若々しくとてもエネルギーッシュで、とても音量があり、素敵でした。

ピアフ、著名な歌手でしようが、私は「愛の讃歌」しか知らない。劇はよくわからなかったが、栗原小卷さん、歳を越え若々しい声で昔を感じさせてくれた。

一人芝居でピアフの人生を演じる、とても素晴らしかったです。他にはない演劇で、しかし少し目の楽しみがなく、さみしかったです。栗原小卷さん、年令に負けない演技に拍手です。

一人芝居はやはり対話劇に比べると単調で、俳優さんの熱演が空廻りしているように感じる。残念だが、一人芝居の宿命(?)

他、たくさん「すばらしかった」「感動した」「よかった」の声が寄せられました。

運営担当の声感想

音が流れた瞬間から、リアルな小卷さんが歌い踊る姿に圧倒され、これまで味わったことのない緊張感を覚えました。会場全体が、小卷さんの歌・動き・仕草のひとつひとつを固唾を呑んで見守つているという雰囲気でした。それがとても心地よかったです。小卷さんの歌と演技を目の前で見られた至福の時間でした。そして、ピアノ・パーカッションの細やかな音も素晴らしかったです。

ピアフの人生を知つて、これからピアフの追い求めた「愛の真実」を感じながら、彼女の歌を聴きたいと思つています。(たぼはぜ)

どうして彼女(小卷さん)はあんなにも輝き続けているのだろう。同じ女性の先輩として、人生の先輩として、心から尊敬の思いを持ちました。一朝一夕の頑張りでは、あのような演技はできるはずがありません。日々の努力、長年の

鍛錬の結果を観せていただきま
した。その彼女が演じたからこそ
ピアフの悲しみや歌への情熱、
「人に尽くすことが人生の本当
の喜び」というメッセージが、胸
に深く伝わってきたと思うので
す。息もつかせぬ90分、素晴らし
い時間でした。(茶色の小びん)

運営サークル会の時にパンフレ
ットを購入しました。「事前に読
んでおくと、ピアフの生き様や心
情がストーリー性をもってよく
わかるよ。」と聞いたからです。
それに私はピアフのことをよく
知らなかったからです。とても興
味深く読むことができ、各場面で
小卷さんがどんな風に演じてく
れるのか楽しみでした。サークル
メンバーの中には、「パンフレッ
トを読んでいたので展開がよく
わかったよ。だからナレーション
が長すぎたかな?」「一人芝居は
初めて。構成がよく考えてあつて
素晴らしかった。」「次にどんな台
詞を言うのかだいたいわかつて
いたので、わかっていたい方がよ
かったかも:」栗原さんの演技
さすが。もう見れないものね。」「
みんなそれぞれの感想をもつて
いました。」

顔になっていました。(かりがね)

入会させて頂きました。初めての
鑑賞会です。若い頃から「愛の讃
歌」が好きだった。今は「ラビ
アローズ」が好きです。ピアフが
歌っているとは知らずに…。二回
訪問したパリは想像とは違つて
いましたが、パリの街の雰囲気は
栗原さんが演じたピアフがマッ
チしてました。ノンストップの一
人芝居、パリにいる気分させて
もらいました。栗原さんの息遣い
が聞こえる前の席で見せてもら
い、至福の時間でした。ありがと
うございました。(水の樹)

ずーっと待ちに待っていた小卷
さんの舞台、一人芝居つてやっぱ
りすごい。迫力ありますよね。ピ
アフの波乱に満ちた人生。でも最
後はステージ。小卷さんも舞台人
演技と歌への情熱がピツタリで
だけじゃない、女にだって勇氣は
ある。」「報酬を求めないで与える、
それは純粋な喜び」これは忘れな
いで、日々の活力にしたいと思
いました。

ピアフが歌の恩師であったイブ・
モンタン。彼が来日した時、TVの
インタビュで当時人気のあつた
NHKのアナウンサーが「若さ
の秘訣は?」と質問した。モンタ
ンは「えっ?」という感じで、「い
つも怒りを持つこと」との答え。
私も意外だったが、アナウンサー
は別の答えをほしかつたらしく、
また同じ質問を繰り返した。彼は
世の中の不条理に怒りを持つこ
とを忘れてはならない、と言

かっただけに違いない。そう、それは
ピアフと共通する生き方だった
のでは。マレーネ・ディートリッ
ヒとピアフが友人関係だったの
は必然のことと思える。(富士子)

運営サークル活動に参加して

高校時代の友人に声掛けしたと
ころ、新たな仲間として迎えるこ
とができました。長い都会生活か
ら生まれ育った富士に戻ってき
た彼女は、ここふるさとでも一流
のエンターテイメントに触れら
れることを喜んでいました。市民
劇場で演劇を見続けられる活動
の灯を絶やさず更に広げていき
たいと、あらためて思いました。
(茶色の小びん)

今回3人の方に声をかけ、会の
良さに賛同していただけたもの
の、残念ながら入会には至りませ
んでした。夕方会場に出かけてく
るのには、家族への気兼ねや運転
の不安などがあるようです。これ
から日没時間も遅くなるので、ま
た声をかけていきたいと思いま
す。他のサークルがクリアして
くださったので、感謝しています。
(だぼはせ)

初めての搬入の仕事、舞台裏の様
子が見れて、楽しかったです。皆
さんと協力し合つて短い時間
でしたけど、参加できて良かった
です。(水の樹)

今回は退会が6名だったので、
クリアの可能性大だなと思いま
した。暮れに2名お誘いしす
返事がもらえなかったので年明

けにもう一度。「今年度は6本で
お得!」を加えたのですが、入会
叶わず残念でした。当日は久しぶ
りに搬入の仕事をしました。大き
な壁や柱はベニヤや角材を使つ
て、がっちり組みしつかり床に取
り付けられていました。客席から
は見えない部分を見ることがで
き、「へー、こうなっているん
だあ。」と驚くこともありまし
た。舞台から客席一つ一つがよく見
えました。小卷さんもこの景色を
見ているんだと思いました。この
ステージで小卷さんが熱演して
いたことがよみがえつてきまし
た。運営サークルになると大変な
面もありますが、楽しさ倍増です
ね。(かりがね)

栗原小卷さんのファンなので運
営担当としてここで一頑張り
と臨み、また大スターなので1人
は勧誘できるのではと心づもり
してしました。時期が年始年末
なので、誰もが忙しいと多少気お
くられて、本格声掛けは1月にな
つてリーフレットを配りました。
1人の方が「前向きに考えます」
と言つて下さり、期待したのです
が、観劇日の都合が悪いらしく、
加入は無理とのこと。とりあえず、
数人の方には知つていただきた
ので、次回もう一度声かけしま
す。ただ、まちづくりセンターにポ
スターを貼つて頂けました。これか
らはそちらの方面にも気を配り、
多くの方に目を留めてほしいと
思います。今回クリアでき頑張
つて頂いた他のサークルに感謝!!
(富士子)

『愛の讃歌ーピアフ』には、作品名に思い入れの多い人たちがサークル担当になったという、そんな自己紹介から始まりました。知名度の高いシャノンソン故のことだと実感しました。また、60代以降には認知されている栗原小巻という女優の一人舞台であること、声の質からピアフの歌が期待できる！と話が弾みました。

今回は、ピアフの自叙伝を忠実に訳したのから舞台を作りあげていること、だから今までの印象とは違う、多面的なピアフが描かれていることを強調しました。皆でパンフレットも読み、各々、ピアフの持つ意外な面も認識していきました。

早くに複数入会があり、その後も運営サークルの中から複数入会が続きました。また来期は6例会が実施されることも新入会を強く後押しできたことと思います。

当日は小巻さんの熱演と若さと美貌に皆すいこまれたようです。それは、今回たくさんの感想文が提出されたことを物語っているかと思えます。

搬出入も、スタッフの的確の指示の

下、一人舞台にしては立派なセットに驚きながらも楽しくすばやく行えました。

まとめの集いでは、やはり栗原小巻さんの若さが話の中心になりました。見習わなきゃね！凄かったね！等々。そして新しくできたりフレッツを活用して、仲間を一人でも増やしていこうと意気投合しました。前例会クリア入会へのバトンをつなげていきましょう。



サークル数	63
サークル増	0
サークル減	0
±	0
会員総数	417
入会	9(2.2%)
退会	6(1.4%)
±	+3
例会参加率	90.4%



運営担当サークル	じゃがいも	エミの会	だぼはぜ	四季成苺	富士子
	レモン	YoungMoon	ソレイユ2	水の樹	かりがね
	フレンズ	茶色の小びん	バラティエ	スカイブルー	まゆみ

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

次例会のおしらせ

No.280 例会

2023年 6月 4日(日)

ロゼシアター中ホール

開場 18:00

開演 18:30



劇団青年座公演

作 岩瀬顕子
演出 須藤黄英

出演
岩倉高子
山本龍二
若林久弥
佐野美幸
森脇由紀
黒崎 照
逢笠恵祐
伊東 潤
宜野座万鈴
須賀田敬右
澁谷凜音

上演時間
1時間55分

一つとして同じ色がない世界はとっても鮮やか
誰かが誰かを無理矢理同じ色に染めようとしても
決して同じになんかならない

東京にある築四十年ほどの一軒家で暮らす春山夫婦。
自宅を改装して始めたシェアハウスには、年齢も職業もバラバラの個性的な
面々が住んでいる。妻の喜代子は、食事会を開いたり、相談に乗るなど、
住人たちの母親のような存在だった。
そんなある日、喜代子が怪我をして入院することに。
それをきっかけにしばらくの間、夫の秀夫が妻の代わりに務めることになっ
たのだが――。

温かい眼差しで社会の問題点を見つめる、日穂-bion-の岩瀬晶子が、
新作書き下ろしで青年座に初登場！

重要なお知らせ

- ・会費納入 4月会費 3月29日(水)～ 4月5日(水)
- 5月会費 4月25日(火)～ 5月2日(火)
- ・退会締切 4月 5日(水)
- ・シール配券
『シェアの法則』 5月 9日(火)～ 5月16日(火)

2023年度総会のご案内

日時 4月9日(日) 10時

場所 富士川ふれあいホール2階講義室

『シェアの法則』担当サークル

夏椿・スカパン・スカパン2・スカパン3・24COSMOS・6・6
彩・DEMBO・CHERRYHILL・すうのいえ・すうのいえ2・ル・フラン
あけびの実・こぶ茶の会

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には
月末の25日～月初め5日 です。
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当の
サークルリーダーにお知らせします。
- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに
手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、
事務局へ提出して下さい。
- ※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。
- ※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は
認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務局にお持ちいただけると大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町12-26 田中ビル101号

TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687

Eメール fj_simingekijou@ab.thn.ne.jp

http://web.thn.jp/ fj_simingekijou/

ホームページ [富士山演劇鑑賞会] で

観劇のマナーを守って 楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません